

令和7年度 第1回 酒田市公民館運営審議会 議事録要旨

日 時：令和7年9月26日（金）

午後1時30分～2時20分

場 所：酒田市総合文化センター 412号室

出席者：委員9名（出席6名・欠席3名）

事務局 社会教育課長ほか8名

協議（1）令和7年度社会教育課主要事業について

・・・

資料1

資料2

委 員 毎回いろいろな企画がありがたいと思っているところだが、例えば参加者の方々のリピーター率はどうなのか。参加したことのある方がおもしろかったということで参加されるのか、新規の方々が来ているのか。

事 務 局 「愛ごはん」の講座はリピーターが多いと聞いている。
「ジオ講座」は大変好評で、特に現地学習は喜んでいただいてリピーターもいる。

委 員 生涯学習施設里仁館は、以前、県の事業とタイアップして県からもお金をもらいながら事業を展開していたと思うが、現在は県からは完全に離れて、市の方が補助のメインとなっているのか。施設管理も含めていかがか。

事 務 局 管理運営の補助金として年間470万円程を市から支出している。以前は県の事業もあり、それに伴った補助もあった。現在は県の事業はなくなっていると思う。

委 員 その中から里仁館の職員の報酬も支払っているのか。

事 務 局 里仁館の管理運営の予算には、市からの補助金とスポーツ振興課から松山地域の体育施設の管理委託料ということで500万円程の委託料が入っており、それで運営をされていることになる。

委 員 受講料も入るか。

委 員 賛助企業等は。

事 務 局 それらも入る。

委 員 何か行事やイベントがあるときは、小中学校に必ずチラシや案内を配布しているのか。

事 務 局 学校をとおしてチラシの配布をお願いしている。

委 員 チラシは見たような記憶もあるが、あまり子どもたちへの宣伝になってい

ない気がする。事業の規模がわからないが、参加人数を増やした方が良いのか、これくらいで十分なのか。参加人数をみると10人、20人とあるが、100人来た方が良いのかもわからない。

事務局 100人は多すぎるが、定員に満たない講座もあり、ぜひ参加していただきたい。学校によると思うが、学校からのお便り自体データになっているところもあり、紙とデータのどちらの方が良いのかも検討していきたい。

委員 学校の広報委員も、専門委員が廃止になっている。小学校はわからないが、中学校はPTAの役員も減っている。学校と保護者とのつながりが薄くなっていて、このような案内も大変だと思う。

事務局 先ほどの里仁館の予算の関係だが、県の事業も請け負っており、45万円程の補助金をいただいているとのこと。

委員 先日、海洋少年団の団長から新規入団者がいないという話を聞いた。海洋少年団の団員総数が17人。自分たちや自分の息子たちの時代、海洋少年団のあの制服は憧れだった。特に自分の時代は憧れの存在だった。確かに今は子どもの数自体が少なくなっているのに、選択肢が子どもの数ほどあるのではないかと思うほどいろんなものがあるからか、と考えている。

委員 改めて資料をみると、新規入団者「0」人と書いてある。昨年は入ったけど、今年は「0」人ということか。

事務局 昨年までは数名の新規入団員がいたが、7年度は初めて「0」人だった。

委員 こちらは広報等に掲載しての募集か。

事務局 団員の募集は、広報にも掲載しイベントがあるたびに記者クラブにプレスリリースをして周知を図っていたが、新規入団者がいなかったのが現状である。

委員 事業に関しては随分少なくなったという感想。以前は数多くの事業を少ない人数でよく回しているなと思っていた。何年もかけてニーズに応えながら精度の高い事業に絞られて残ってきたのかなと思う。私の家に2年生・3年生の小学生がいる。そのほか幼稚園・保育園の子どもたちもお稽古で来ているので、保護者さんや子どもたちの現状を少しお知らせすると、琢成小学校は全学年が1クラスで、10何人で1クラス、20人、25人いれば多い方で、それが1クラスずつ6学年という現状。2・3年生くらいにスポーツを始めると、週のうち3日はスポーツの練習、土日は練習試合となる。学校から楽しそうなチラシをたくさん持ってきて見せるが、すで

に予定が入っていて、良い事業がたくさんあるのにピンポイントでその日のイベントと言われるとなかなか難しい。美術館のように開催期間が長いものであれば何とか連れていけるが、なかなかこの日のイベントとなると日程を合わせるのが難しくて、もったいないなと思っている。その代わりと言っては何だが、ミライニでは常に何かのイベントをしている。予定が空いた日に、どこかで何かをやっていないかというときにはミライニを見るようになった。常にどこかで何かをやっているようになったと肌で感じている。学校の行事や学年レクリエーションも、以前は学校に集まって何かをやるようなイベントだったが、先日孫の学年では定期船とびしまのサンセットクルーズにクラスの全員で申し込んで、海洋センターで海のお話を聞いて、というクラスレクを企画していた。保護者がSNSでつながっているので、学年の役員がネット情報を調べて企画して、アンケートも意見も出しやすいし、集計もしやすいということだった。そういうクオリティが上がっているなと感じた。

委員 中学校の部活動が地域移行になって、格差というか、地域のクラブチームや遠いところに行かなければならなくなった。今まで部活動で身近なところでやっていたが、親の送迎がないと、少し足を運ばないとできなくなったということで、何にも所属しない子たちが出てきている。そういう現状を聞くと、クラブチームはすごく高くて予算の問題もあるけれども、こういう中学生対象の夏休み宿題お手伝い教室のようなものに参加できないか。また先ほどのお話しにもあったように、クラスの企画で参加しても良いような講座があったら良いのではと思う。よねさんの紙芝居の出前講座も園主体で園にお願いするから参加人数は多くなるが、家庭にゆだねられた内容となると、なかなか難しい。でも実際漏れている子どもたちがすごくいるのかなと思うと、部活動は決してスポーツするためのものだけではなくて、放課後の居場所であったりするのに、それが今難しくなっているのかなと思った。ちょうどスポーツ推進の方にも関わっていたので、このような値段も安くできる講座がたくさんある中で、そういう子どもたちが気軽に行ける講座がないのかなと思いました。

委員 今の中学生は、部活に全員加入ではなくなって、そういう中で中学生を対象とした講座の工夫が何かここでできないかというご意見かなと思って伺った。

報告（１）生涯学習まつり２０２５の概要について・・・資料３

委員 来年は１０月２４日、２５日に決まりましたというご報告がありました。